

公園遊具のあり方について

問 高齢者の健康づくりは高齢者保健福祉計画の大きなテーマ

マでもあり、今後策定される地域福祉計画においても重要な課題

題となっている。今後の高齢者福祉の観点から、健康遊具の配置は必要と考えるが、今後の方針は。



水辺公園に設置されている健康遊具

答 高齢者の健康づくりのためには、公園等への健康遊具の配置も必要と考えている。遊具の配置は、国が示している「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」などを参考にし、健康遊具などはこれまで、総合公園等16公園

市民病院における時間外選定療養費について

福山医療センターをはじめ市内の病院でも、夜間・休日に救急外来を受診した軽症患者から、診療費に加えて「時間外選定療養費」の徴収を始めた。市民病院への導入は、市民に新たな負担を課すものであり、慎重な対応を求める。

答 この制度は、緊急の受診の必要性がないにもかかわらず、患者の都合により時間外診察を希望した場合に限り徴収ができるものであり、軽症患者の安易な時間外診の受診抑制を期するものだが、第一義的には、安易な受診を控えるよう市民への周知、啓発に努めることが重要である。市民病院への導入は、今後の時間外受診者の動向を注視し、医師の過重労働の防止なども考慮し、慎重に対応を検討する。

に合計52基設置した。今後も、高齢者福祉施策の視点を踏まえ、一般遊具の活用も含め、総合的に判断していく。

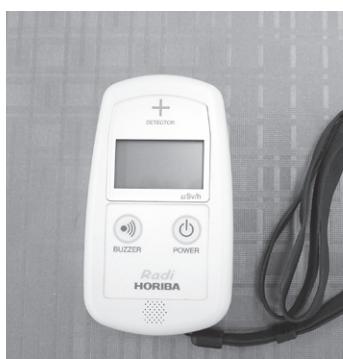
日本共産党

A black and white portrait of a man with short dark hair, wearing a light-colored dress shirt and a dark suit jacket. He is looking slightly to his left.

土屋
知紀
議員

エネルギー政策について

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性の問題点を明らかにした。今の原発技術は未完成で、放射性廃棄物の処理方法は確立していない。
①本市でも自然エネルギーの利用促進を図ること。
②本市の放射性物質の監視体制を確立すること。



放射線量を測定する簡易測定器

答 ①国は、エネルギー政策のあり方の総合的な見直しを行うとしている。本市では、国の基本的方向を見極めながら、太陽エネル

自治体改革推進会議について

本市はかねてより、自治体改革推進会議を設置し、理事者と労働組合役員とで、市の管理運営事項や労働条件について協議を重ね、市政運営を行つてきた。これに対し住民訴訟が起こされ、断罪された。市長は3月議会でわかりやすい制度となるよう努めると答弁したが、どのような制度改善が行われたのか。また、職務専念義務を免除していた期間について、遡及して給与を返還するよう求める。

自治体改革推進会議の設置答
要綱は廃止し、新たに、勤務時間外に労使間で意見交換を行つていくことなどの方法を検討していく。給与の返還は、法的側面から求められないものと考える。

ギーをはじめとした再生可能エネルギーの有効利用の促進や、電力需給の効率化など、エネルギーの高度化利用の施策の推進、支援に努める。②簡易測定器により、放射線量の測定を検討している。